



2019. 3. 29 発行 No.144  
社会福祉法人 すずかけ福祉会

障害者生活介護事業所「すずかけ共同作業所」

小牧市大字南外山字間島15-1 TEL.0568-71-3644 fax.0568-71-3649

障害者生活介護事業所「さらん」

小牧市小針2-356-2 TEL・fax0568-75-3991

障害者共同生活援助事業所 すずかけホーム「そよ風」「虹の家」

小牧市大字南外山佃81 TEL・fax0568-76-8151

障害者共同生活援助事業所 すずかけホーム「青空」「太陽」

小牧市小針2-356-1 TEL・fax0568-75-2888

障害者共同生活援助事業所 すずかけホーム「大地」「すばる」

小牧市小針2-363-1 TEL・fax0568-75-2888

障害者居宅介護事業所 「ヘルパーステーションとなり」

小牧市小針2-356-1 TEL0568-90-0111 fax0568-90-0112

# 祝・成人

～おめでどうございませす



1月11日(金)に「新成人を祝う会」が行われました。今年の新成人は堀田朔也さんと幅上真樹さんです。二人ともさらんの仲間です。

当日に向けて、祝う会の内容を考えたり、それぞれの仲間と担当職員で何をしてみたいか、大きな柱となる「20歳の誓い」をどうするのか一緒に話し合いました。その結果、字を書いたり読むことが得意な堀田さんは「両親へ20歳の決意を手紙にして読む」。仲間や職員のこと好きな幅上さんは、「さらんで1歩ずつ大人になります」という誓いをもって、「好きなダンスをみんなで踊る」ということになりました。

堀田さんは担当職員と一緒に「どんな大人になりたいか、どんなことをやってみたいか」という思いを出し、手紙にしました。その後、本番さながらにみんなの前で読み上げる練習もしました。幅上さんも仲間たちと一緒に曲に合わせてダンスの練習を重ねました。フォーメーションもばっちり合わせ、目の前の職員を見本に元気よく踊っていました。

迎えた当日

は、二人とも真新しいスーツを身に纏い、その姿は少年から青年へと羽

ばたこうとしているたくましさを感じるほどでした。会の前半は、仲間や職員たちからのお祝いを受け取り、後半はいよいよ「20歳の誓い」を披露する場面になりました。二人とも緊張した表情でしたが、これまでの練習の成果を発揮し、見事にやり遂げていました。

最後に参加してくださったご家族からの挨拶。堀田さんはさらん入所時は気持ちの面で「お腹が痛い」と言い、なかなか中に入ろうとしなかったこと、幅上さんは幼い頃医師からあまり長く生きられないと宣告されたこと…。でも今では二人とも元気にさらんに通えており、それがとても嬉しいというような心温まるメッセージに胸が熱くなりました。

二人とも本当におめでとう！ (職員 野村)



スーツがよく似合うね！今日は特別な日♪



## 2019年度予算が発表されました

### 障害者福祉にはどうかかわってくる

安倍首相が年頭記者会見で「全世代型社会保障を進めていく」と口にしていきます。

この「全世代型社会保障」はその基本は「自助」で、昨年までの地域包括ケアシステムの中で言われていた「我が事・丸ごと」を一層進めた方向性を打ち出したものです。さらに、経産省主導の論理が取り入れられ、消費税の増税を正当化しながら「新しい経済政策パッケージ」と銘打って福祉を経済活動の一部として位置付けるなど、もはや公的責任は全く感じられないものです。安倍政権の進めてきた「福祉よりも経済」という姿勢が強く打ち出された感じを受けます。

そんな情勢を裏付けるように、各省庁の2019年度の予算が見えてきました。このうち厚労省の予算に目を向けると※社会保障費の自然増（本来必要なもの）6000億円分のうちの1200億円分を圧縮しています。生活保護費の切り下げ、協会けんぽへの国庫補助削減、企業に勤める4歳〜6歳の介護保険料の引き上げなどあまりの予算削減。厚労省（国）は「仕

事をする気があるのか!？」と怒りさえこみ上げてきます。これも経産省の主導のもとにつくられた予算で、国民の生活実態よりも経済活動優先のものであると感じます。

この怒りに関しては、署名等でしっかりと訴えていかねばなりません。

今回の予算について、特に1点指摘をしておきたいと思います。人材の確保・処遇改善費として約263億円が増額されています。障害福祉分野の職員の労働条件が悪く、人材の確保ができないのは周知の事実です。国もそれを把握していて、てこ入れをしてきたのですが、その方法として処遇改善という付け焼刃で対応をしようとしています。この手法はすでに高齢分野（一部障害でも）実施してあまり改善が出来てこなかったものです。労働条件の改善は単価の問題や常勤換算制度の問題、日払い制度など制度の改善がなされなければ結果が見えてこないと考えます。抜本的な改善を要求していきたいです。

余談ですが、防衛費は7年連続の増額、過去

5年で最高額と聞きます。なんでも新型の戦闘機をたくさん買うとのこと。さすがには自衛隊小牧基地のすぐ横にあり、頻繁に自衛隊機が頭の上を飛んでいます。今もこの文章を書いている事務所の上を爆音をあげて噂のF35A戦闘機が飛んでいきました。国の税金は国民のために使うものですよね。人が生きていくために必要なのは戦闘機なの?と耳をふさぎながら考えてしまいます。

※社会保障費自然増削減

物価上昇などで本来は必要な社会保障費を様々な手法で切り下げること。利用者、施設にとっては必要な経費は増えるのに、収入（補助金等）は増えず、厳しい状況がさらに厳しくなっていくことに。2016年から2019年の7年間で4兆2720億円が削減されている。このお金がきちんと使われていれば…?



（ホーム施設長 光岡）

く高齢期の障害者のくらしを考える①く

マサシさん（仮名）は小規模作業所の頃からずっとすずかけで働き、仲間達のリーダーとして頑張ってきた仲間です。もう30年以上です。ここ数年は足の痛みや貧血などで複数の病院にかかり、体調面で不安をかかえながらの生活でした。

67歳のある日、転倒して骨折してしまったマサシさん。入院生活は辛そうで、職員がお見舞いに行くと「俺のことなんて忘れてまったかと思ってた」と弱音。でも仲間達が行くと「俺も頑張らないかな」と元気になるのです。やはり同じ釜の飯を一緒に食べてきた仲間は違うんだなあと思えました。リハビリを頑張ったことで退院の頃には以前よりも歩けるようになり、今では作業所とホームに戻って元気に過ごしています。ある日、給食に「にゅう麺」が出ました。マサシさんは麺類が好物なので、きつと最後に残しておいたのでしょうか。ところが食べずに片付けるので「マサシさん、にゅう麺残ってますよ」と言うと「いい、冷たいし」と言います。以前に比べると食べる速度も落ちていたので冷めてしまったんですね。「じゃあ私のと取りかえましょう」なんて話をしていると、調理員が来て「温めてあげますよ」と一言。すると「ありがとうございます」と顔をくしゃくしゃにして喜んでいました。あまり世話をかけた



なねがいがかなわなくなってしまうのです。

「すずかけの樹」でも何度か紹介しています。障害者総合支援法の中には65歳になると「介護保険優先原則」というものがうたわれています。マサシさんは体の調子を聞かれるといつも「大丈夫です」と答えていました。ある時「ここにいれんくなるといかなから」とポツリ。介護認定がついて障害者施設制度が使えなくなる。と困る：なんとなくそう理解していたのです。今までずっと障害を持った仲間達と家族同然で生きてきて、65歳を超えたからといって急に障害がなくなるわけではありません。高齢者施設へ、なんてことになったら、新たな環境で対人関係を一から構築していくことがどんなに大変なことかしれません。そんな不安とずっと闘ってきたのです。

今回の入院でマサシさんは要介護3の認定を受けましたが、障害に特化するということで、すずかけで生活介護とホームの利用を継続出来ることになりました。また、介護保険を併用し週一回リハビリの為高齢者デイサービスに通う

ないという遠慮やプライドがあつて言えなかったのでしょうか。周囲が気付かなければ、温かい汁物を食べたいというささやかな

## 新人職員紹介♡

ことになりました。ご尽力いただいた病院、相談支援、行政の方々に感謝いたします。すずかけで働き続けたいというマサシさんの一番のねがいは守ることが出来ました。

でもマサシさんは一人では歩けないし外出できません。床屋さんに行きたいという要求を実現するまでに、ヘルパー、職員など様々な人の都合や調整が必要になってきます。人としてあたりまえのねがいがなくなっていかない現実があります。くつづくく （職員 幅田）

2018年4月にすずかけ福祉会に入職しました「加藤 愛梨（えり）」と申します。加藤姓が多いのでみなさんからは「えりさん」と呼ばれています。仲間からは「えりちゃん」とも呼ばれたり(笑)。

今まで名字で呼ばれることが多かったので初めは不思議な感じでしたが、半年も経つと慣れるものですね。逆に「加藤さん」と呼ばれると緊張感が走ります(笑)。

配属先はすずかけ共同作業所です。毎日驚きと発見の連続の中でお仕事させていただいております。

仲間たちの良さを自然な形で引き出す職員のを後追いしつつ、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

## ◆今年もグッズデザインコンクールで入賞、入選したよ!

今年も快挙!「きょうされんグッズデザインコンクール」で、岩本重一さんの絵「自転車に乗る僕」が入賞、吉川光男さんの絵「おすしを作るお父さん」が入選しました。吉川さんは念願の入選です。「よかったね!」とみんなで喜び合いました。岩本さんの絵は来年のカレンダーになります。今年のきょうされんの愛知大会で登壇して賞状を受け取るのが今から楽しみです  
ね♪



自転車に乗る僕



おすしを作るお父さん

## ◆しゅんぎんちやく袋

### 納品しました!

先日外山幼稚園さまから注文を受けていたきんちやく袋187枚が完成しました。いつも注文ありがとうございます!

なかまたちが一年かけてコツコツと縫い上げた刺繍がつけてあります。男の子だから乗る物、女の子だからピンク...とか思いをめぐらせなが

ら刺繍をしました。

進級のお祝いです。子どもたち気に入ってくれるといいナ...  
◆

## ◆ホームとヘルパー職員の

### 合同会議をしています

すずかけのホームは全部で6つ。職員は夜中、ホームで一人です。正規職員以外にパート職員も頻繁に勤務しており、ヘルパーと兼務している職員も多いです。

これまでなかなか職員同士が交流する時間が持てず、課題や悩みがそのままになりがちでした。そのため今年度は定期的な交流の場を設けました。人権のこと、仲間の高齢化、介護保険のことなどの学習会に加え、悩みや仲間の姿など交流してきました。顔を合わせて直接話し合うことは大事ですね。

今後みんなでの悩み、いろいろなことを共有し合っていけると良いなと思います。

## ◆寄付・寄贈の御礼

- ・小牧市善意銀行様
- ・イオン小牧店様
- ・カトリック小牧教会様
- ・日栄産業(株)様
- ・小牧遊戯場防犯組合様
- ・コモ(株)様
- ・日本特殊陶業株式会社様
- ・小牧ライオンズクラブ様

くあしがうごいぬました



## ◆職員が1名入職しました♪

2月に新しく女性職員が採用されました。現場はとても明るい雰囲気!また書面でも紹介しませぬ。

皆様よろしくお願いいたします。

## ✿職員(正規・パート)

### 募集中✿

(0568-71-3644 高柳)



## 編集後記

今年はいよいよきょうされん全国大会が17年ぶりに愛知で行われます。また、すずかけ福祉会40周年の記念の年でもあります。これまでの歴史をおさえ、一丸となり次に繋げていかなければなりません。情勢が厳しく、日々忙しいつい守りに入りがちですが、「仲間にとってどうなの?」「仲間の本当のねがいつて?」という視点を忘れずに頑張っていきたいです。

すずかけの樹は新年度も4回発行を目指してしっかりと取り組んでいきます♪

新年度もよろしく願います。(M)